



2024年6月8日

各 位

会 社 名 ▲株式会社ミツウロコグループホールディングス
代表者名 代表取締役社長CEO 田 島 晃 平
(コード番号 8131 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役コーポレートセクレタリー 児 島 和 洋
(TEL 03 - 3275 - 6300)

当社第115期定時株主総会 第1号議案および第2号議案に関する
議決権行使助言会社 ISS 社およびグラスルイス社の反対推奨に対する当社の見解について

当社は、2024年6月18日開催予定の第115期定時株主総会の第1号議案および第2号議案について、議決権行使助言会社 Institutional Shareholder Services Inc. (以下、「ISS 社」) および Glass, Lewis & Co., LLC (以下、「グラスルイス社」) が、反対を推奨している旨のレポートを発行している事実を確認いたしました。

つきましては、下記の通り、ISS 社およびグラスルイス社の反対推奨に対する当社の見解を記させていただきます。株主の皆さまにおかれましては、当社定時株主総会招集ご通知、ならびに本内容を今一度ご一読いただき、改めて当該議案へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. ISS 社およびグラスルイス社の反対推奨内容

ISS 社およびグラスルイス社は、以下の理由で各取締役候補者の選任議案に対して反対推奨を行います。

(1) 田島 晃平氏

ISS 社では、政策保有株式の保有額が連結純資産額の20%以上である場合に、経営トップの取締役選任に反対推奨する旨の定量基準を定めています。また、グラスルイス社では、政策保有株式の保有額が連結純資産額の10%以上である場合に、会長（会長職が存在しない場合は社長等の経営トップ）の選任に反対推奨する旨の定量基準を定めています。今回、当社の同比率が、定量基準に抵触することを主因に、取締役候補者である田島晃平の選任議案に反対を推奨しています。

(2) 塩原 規男氏

ISS 社では、独自の取締役の独立性基準を定めており、塩原規男氏が代表取締役社長を務めるサンリン

株式会社と当社との間に株式の相互保有の関係があることを理由として、同氏が独立性を欠いているとして、同氏の選任議案に反対を推奨しています。また、グラスルイス社においても、独自の取締役独立性基準を定めており、当社代表取締役社長 CEO の田島晃平がサンリン株式会社の社外取締役であることおよび当社とサンリン株式会社との間に株式の相互保有の関係があることを理由として、同氏が独立性を欠いているとして、同氏の選任議案に反対を推奨しています。

2. 当社の見解

田島晃平氏および塩原規男氏の選任議案への ISS 社およびグラスルイス社の反対推奨に対する当社の見解は以下のとおりとなります。

(1) 田島 晃平氏

当社は、事業戦略上の重要性、取引先との事業上の関係等を総合的に勘案し、中長期的な企業価値向上に資する株式については、保有していく方針であり、毎年取締役会において、個別銘柄ごとに取得・保有の意義や、資本コスト等を踏まえた採算性について精査を行い、定期的に保有の適否を検証し、保有の合理性が認められなくなったと判断される銘柄については売却を行っております。2023 年度におきましては、保有意義の検証を行い、2 銘柄について売却を実施しております。

また、2024 年 5 月 9 日に開催された取締役会において、同日付「特別利益（投資有価証券売却益）の計上見込みに関するお知らせ」のとおり、政策保有株式の見直しによる資本効率の改善や財務体質の強化、PBR1 倍超えに向けた取組み推進を目的として、2024 年度におきましても当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議しております。

政策保有株式の保有意義の検証につきましては、連結純資産額に対する割合という一義的な定量基準ではなく、事業戦略上の重要性、取引先との事業上の関係等を総合的に判断されるべきものと認識しております。

(2) 塩原 規男氏

当社とサンリン株式会社は株式を相互保有しておりますが、サンリン株式会社の当社における議決権比率は 2.1%であり、また、サンリン株式会社は当社の関係会社ではございません（当社議決権比率：13.7%）。したがって、当社とサンリン株式会社はいずれも互いの経営に直接的かつ多大な影響を及ぼすような議決権は有していません。また、当社代表取締役社長 CEO 田島晃平は現在サンリン株式会社の社外取締役を務めておりますが、社外取締役として同社取締役会を監督するとともに客観的な立場から合理性のある助言を行うにとどまり、同社の業務執行には関わっておりません。加えて、当社とサンリン株式会社との間には主要な取引関係はなく、また、塩原規男氏は当社および当社グループ会社での業務執行経験・勤務経験もなく、当社および当社グループ役員との間に親族関係もございません。

以上からすれば、塩原規男氏は、当社との関係性において独立していると認識しております。

株主の皆さまにおかれましては、本内容をご確認いただき、当該議案への正しいご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上